

「全鍍連」 2019年9月号 巻頭言

全鍍連 副会長 神谷 篤 (有)竹田鍍金工業 代表取締役社長)

「とりもどせ技術大国日本」



全鍍連山田新会長の元、技術担当副会長を仰せつかりました愛知県鍍金工業組合神谷篤です。大役を精一杯努めてまいりますので前年度に引き続きご指導ご鞭撻よろしくおねがいします。

さて全鍍連ではめっき技術コンクールも含め情報提供や人材育成等、業界の技術力の維持向上に様々な施策を行っているわけですが昨今の製造業全般に於ける人材不足、若者の現場作業離れのニュースを見聞きするたびに本当にこれで良いのだろうかと思います。

大学受験者数は景気が落ちてくると就職に有利な理工系の人気が高まるということで少し増えているようですが実はリケジョと呼ばれる女性の進出と外国人留学生の増員が顕著になっています。そして卒業時の成績の上位はこれらのアジア系留学生が独占し多国語もできるということで勉強しない日本人大学生を尻目に大企業にどんどん就職しているとも聞きます。

そしていよいよ小学生の将来なりたい仕事に「e-sports」が入ってきました。名前はカッコ良いですが要はネット上でコンピューターゲームをしてスポンサー賞金を手に入れるということです。YouTube、Instagramでの宣伝広告費収入、仮想通貨への投資と同じくネット内での経済活動と言えなくもないのですが、こうしてみると少し前のゲームプログラマー志望ブームのほうはまだ「ものづくり」と言えたかもしれません。

現実の製造業全般を見ても不安要素がたくさんあります。技術系特許出願数は2017年中国に抜かれ三位となってしまう。そもそもここ数十年少子化傾向の上に理系離れを叫ばれて久しく、研究者が少ないうえに基礎研究がおざなりにされる我が国では有能な人材が海外にどんどん流出しています。石油もガスも食物も海外からの輸入に頼っている我が国で世界と対等に渡り合える唯一の手段である製造業の根幹が今揺らいでいます。

業界に従事している方への人材育成だけでなく「ものづくり」の楽しさや面白さ、すばらしさをもっと多くの方々に発信、伝承していくべきではないでしょうか。どこかのテレビの宣伝で歌っていました「♪創るって楽しいよ～考えるとウキウキ、なんだかゾクゾク、ニヤニヤしちゃうよ～♪」こんなことを未来を担う子供たちに伝えていくことも我々の大切な仕事ではないでしょうか。まだ世界で圧倒的にジャパブランドが通用している今、我々ができる次代に向けてすべきことのような気がします。